

クラス番号	913	ゼミタイプ	エクスカージョン型
		担当教員名	石河久美子
テーマ	国際的視点でソーシャルワークを考えるー在住外国人への支援を中心に		
ゼミナール概要			
目的、内容、方法等： みなさんは社会福祉の分野、サービス対象者というとどんなことをイメージしますか。高齢者、障害者、児童の分野、日本人の問題を扱うというのが頭に浮かぶのではないのでしょうか。しかし、近年、南米やアジアから日本にやってくる外国人の増加、長期滞在、定住化が進んでおり、これらの生活者としての外国人をどう支援していくかは、日本の社会福祉の新しい重要課題です。 このゼミでは、外国人たちはなぜ日本にやってくるのか、日本で生活をしていく上でどのような問題を抱えているのか、日本人である私たちは彼らとどう関わっていったらいいのか、どのように日本社会が変わっていくべきか、必要とされる支援方法やサービスのあり方は何かといったことを、ゼミ生と教員と一緒に考え学んでいきます。 外国人の抱える問題としては、日本人との国際結婚にまつわる問題、ドメスティック・バイオレンス、外国人の母親の育児不安、児童虐待、外国人児童の不登校、不就学、医療サービスを受ける上での困難、労働問題、高齢化に向けての課題などがあります。ゼミでは、これらの問題の背景には何があるのか、問題に対応していくにはどうしたらいいかを具体的に考えていきます。また、支援の実践方法としての多文化ソーシャルワークについて学びます。 フィールドワークをはじめとした多様な学習の方法を通して、幅広い国際的な視野を持ち、柔軟な思考と創造性を備え、人と社会環境に効果的に働きかけることのできる力を身につけていきます。			
授業計画： 在住外国人の現状や問題を関連資料、視聴覚教材、ゲスト講師、フィールド見学、グループ発表を通して学びます。夏休みは各自で外国人支援の現場での聞き取りを行い、後期はその成果をゼミで共有し、外国人の現状や生活課題を掘り下げます。 これらの学習と並行して、3・4年次の専門演習に向けて、レポート作成能力向上のための指導を行います。			
担当教員からのメッセージ			
		ブラジル人児童の教育支援団体の見学や活動参加などのフィールドワークを実施します。主体的に行動できる方、積極性のある方の参加を歓迎します。 私はアメリカでソーシャルワークを学び、ソーシャルワーカーとして働きました。日本とアメリカのソーシャルワークの違いなども皆さんと共有できればと思います。アメリカのみならず、海外の動向に関心のある方の参加も期待します。 外国人支援は、社会福祉の新しい開拓的テーマです。人と少し違ったことをやって新たな知識や経験の幅を広げたい人、ぜひチャレンジしてみてください。	